

多彩な交通安全キャンペーン

春の交通安全全市民総ぐるみ運動

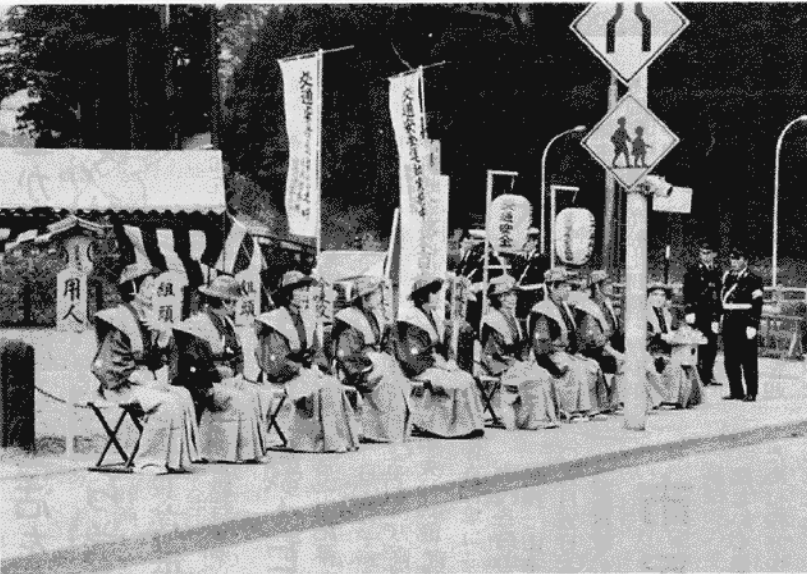
「春の交通安全運動」は、四月六日から十五日まで、数々のPR行事を行い、事故防止を呼びかけました。

この運動でおなじみになった「日光奉行所」を今年も開設し、日光警察署長をはじめ交通安全協会、交通安全母の会、女性ドライバー

クラブなどが交替で奉行所に詰め、道行く市民や観光客、ドライバーに、将棋の駒を形どった「通行手形」や「お守り」を配って交通安全を呼びかけました。

安全運動の初日には、早朝から関係者約六十人が、国鉄、東武日光駅前など市内六か所で、通勤者にチラシやティッシュペーパーを配り、「交通安全運動にご協力を」と呼びかけました。

また、二日目の四月七日には、総合会館で「交通安全市民の集い」が開かれました。この集いでは、日光警察署長の交通安全講話、事故防止を呼びかける映画の上映、県警音楽隊の演奏、市民が参加した歌唱大会（十四ページ参照）など盛りだくさんの催しを行い、集まった市民全員で交通安全を誓いました。



音楽はコミュニケーション!!

「音楽を通して家族やグループで交通安全の話し合いの場を……」という目的で初めて企画した「歌唱大会」に人気が集中したようです。

犯罪と非行の掃を……

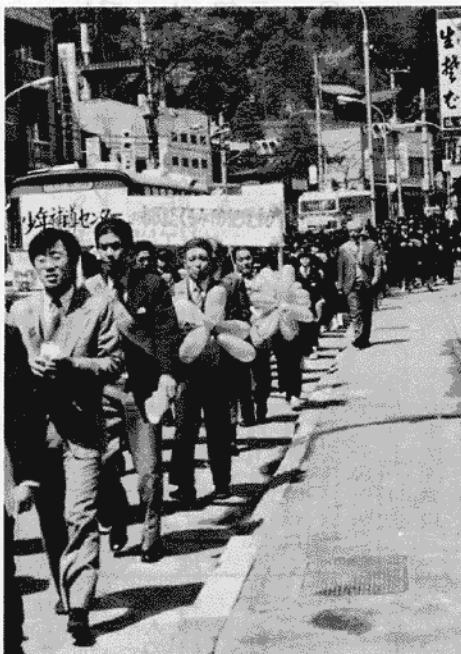
パレードで防犯を呼びかけ

一方、四月二十一日から二十七日までは「春の市民総ぐるみ防犯運動」を展開、初日の二十一日には、総合会館前広場で「防犯のつどい」が開かれました。

このつどいでは、星野市長、山形日光警察署のあいさつと、弓手教育長が「犯罪と少年非行をなくし、明るい地域社会の建設を……」と大会宣言決議文を読みあげました。

続いて国鉄駅までのキャンペーン

そのほか期間中は、新入学児に対する交通安全街頭指導、シートベルト着用指導、自転車・自動車の点検整備指導など、関係者、市民が一丸となって運動を展開しました。



防犯キャンペーンパレード

貴重な水です
大切に

水道週間 6月1日～7日

水道の水はつくられているのです。無限に出ているものではありません。もし、私たちの生活から水がなくなったらどうなるか考えてみたことがありますか。家庭で、学校で、病院で、工場で……いたるところで機能がマヒしてしまいます。六月一日～七日は、「水道週間」です。この機会にもう一度、水の大切さについて考えてみましょう。

パッキングを

無料で修理

市では「水道週間」期間中、みなさんの便宜を図るため、蛇口パッキングを無料で修理します。修理受付区域の工事店などの詳しいことについては、後日「チラシ」でお知らせします。